

会 議 録

日 時	平成28年3月23日(水) 午後5時30分～午後6時20分	場 所	日新館 市民ホール
会 議 名	平成27年度 第3回矢島まちづくり協議会		
出 席 者	別添 出席者一覧のとおり		

案 件 及 び 会 議 内 容

1. 開会

【佐藤助雄振興課長】

ご苦勞様であります。まだ見えてない方、一名おりますけどもご案内の時間となりましたので、ただいまから第3回矢島まちづくり協議会を開会いたします。私は振興課長の佐藤でございますので、よろしく、お願いいたします。本日は総合支所職員の他に公共施設等の総合管理計画の説明の為に総務管財課の財政課の遠藤班長にお越し頂いております。

2. あいさつ

【佐藤助雄振興課長】

それでは、はじめに由利本荘市を代表いたしまして佐藤俊一矢島総合支所長が皆さんにご挨拶を申し上げます。

支所長あいさつ

【佐藤俊一支所長】

おぼんでございます。今日は年度末を控えまして大変お忙しい所、皆さんにはご出席頂きまして誠に有り難うございました。皆さんには27年の8月に委員に委嘱申し上げそれ以降、全体会あるいは各部会ごとに課題をご協議頂いていることに、お礼を申し上げたいと思います。また、日頃は市の事業あるいは地域の事業にご理解とご協力を頂きまして改めて、お礼を申し上げます。本日の会は委員の皆様と総合支所職員とまちづくりの、さまざまな課題について共有した情報をもって、また、協議して頂いくということでの会でございますので、どうぞ、宜しくお願い致します。28年度の予算も、確定し、この後、説明を申し上げていきます。簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。宜しくお願いします。

【佐藤助雄振興課長】

続きまして、矢島まちづくり協議会の佐藤会長からご挨拶をお願い致します。

会長あいさつ

【佐藤久美会長】

皆さん、ご苦勞様でございます。今日はお集まり頂きまして本当に有り難うございました。今日、中間報告というには時期が早い感じがしますが年度の括りということで、これまで皆さんに協議して頂いたことを先ほど支所長もお話ししました様に協議会委員が共有するという意味で発表して頂いて、まとめの方をしたいと思います。ぜひ活用して頂きたいと思います。それから、遠藤班長さんには大変、遅い時間ですが来て頂きまして本当に有り難うございました。宜しくお願い致します。この会、スムーズに進めて後の会を長い時間過ごしたいと思いますので、ぜひ、ご協力をお願い致します。簡単ですけども開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。有り難うございます。

【佐藤助雄振興課長】

どうも有り難うございました。

3. 案件

【佐藤助雄振興課長】

それでは、協議案件に入りたいと思います。条例第7条第1項の規定によりまして、この会の進行につきましては佐藤久美会長に議長をお願い致します。

【佐藤久美会長】

それでは早速、協議に入らせて頂きます。今日の第1案件であります由利本荘市公共施設等総合管理計画ということで議題にしたいと思います。それでは、事務局より説明をお願いします。

(1) 由利本荘市公共施設等総合管理計画について

【遠藤哲也財政班長】

皆様、プレゼンお疲れ様でございます。由利本荘市の総務部財政課の班長の遠藤と申します。東由利出身でございます。本日は矢島まちづくり協議会の貴重なお時間を頂きまして本当に有り難うございました。今、市が進めております由利本荘市公共施設等総合管理計画の策定内容について中間報告も含めまして、この場をお借りしまして、ご説明申し上げたいと思いますので、十分程お時間頂いておりますので宜しくお願い致します。大変、恐縮ではございますが早速、説明申し上げたいと思います。そうすれば、お配りされております由利本荘市公共施設等総合管理計画について資料を見て頂きたいと思います。表紙を開いて頂きまして1ページ目でございます。

1のなぜこのような取り組みが必要なのか。でございますけれども、まず、そもそも公共施設等総合管理計画とは、なんぞやというところでございますが平成26年になりますけれども総務省より全国の都道府県各市町村いわゆる各地方公共団体の全ての地方公共団体に、すみませんと国から要請されたものでは、ございますけれども、その背景と致しまして昭和39年の東京オリンピックの前後だったかと思うんですけど高度経済成長期に一斉に建物が建てられた事があったかと思えます。もちろん、公共施設も、その年に一斉に建物が建てられまして、今この時期にきて老朽化が激しくて更新時期を一斉に迎えているというところでございます。当時から比較しましても人口減少も格段にすすんでおります。皆様、ご存じの通り近年は、その人口減少が顕著でございます。公共施設等の需要もかなり様変わりしているんじゃないかと国から心配されている様な状況でございます。これらの事案というのは、なにも由利本荘市ばかりだけでなく全国の地方公共団体の共通な事ではございますけれども、また、人口減少が一番大きな要因ではあります。市のお金も減ってございます。市税ですとか地方交付税も年々、減少されておまして、特に由利本荘市の様な合併した市町村団体におきましては合併から11年目を今、迎えておりますけれども旧1市7町で交付税を算定したものを特例で合算されて、ひっぽって多めにもらっていたんですけども平成27年度から段階的にそれが減らされまして、今でいう、今から計算しますと平成32年度には32億円程から35億円程なくなるのではないかという推定がたてられております。その様な財政事情となつてございますので公共施設を全体的に全体を把握しまして長期的視点10年以上が望ましいとされてございますけれども施設ごとに更新するか統廃合するか、または改修して長寿命化を図るか等、当該施設の最適な改修を実現しなさいよ、というものが公共施設等総合管理計画でございます。平たく言いますと、市のお金に合わせて実情とか、地域の実情にあわせて建物を維持してくださいね、という国から要請されている計画でございます。由利本荘市においても職員適正管理計画っていう職員合併した時の1500人程おりましたのが今、現在おりますのが約1000人程で500人程、減らすなど行財政改革を進めておりますけれども、やはり、この公共施設等や公共施設の維持費というのが喫緊の課題でございましたので国

からの要請を受けまして平成26年度より計画策定に取り組んでおりまして28年度中に計画を完成させる予定であります。2のこれまでの流れをご覧ください。片括弧1の平成26年の9月でございますけれども公共施設の建物の面積、構造、維持費など実態調査を実施いたしました。その実態調査に伴いまして片括弧2の平成26年10月の今後の維持費の推定作業に入りまして複雑な建物や大規模な建物については秋田県立大学の教授の方々に委託いたしまして、その施設600程がございましたけれども、その一時試算で、その600施設の維持改修費と申しますか、今後維持する為の10年間で120億円が必要であると試算されてしまいました。ここで平成27年7月、トイレですとか、あづまやですとか端的な小規模な1100施設は各市の自腹において試算しましたが資料に記載はしておりませんが39億円かかるよと試算いたしました。合わせまして現所有の全ての建物を維持する為には10年間で159億円かかりますよという試算になりまして年15億9千万円の財源が必要になりますというふうな怖い数字がでてしまいました。今現在、維持補修費、市が公共施設の維持補修費に掛けているのが3億円〜4億円ほどございますので、今より約11億円ほど財源が更に必要になるという状況となっております。これらの状況につきましては平成27年9月議会でございますけれども、そちらの方の9月議会において全協議会を開催しまして議員の皆様には、その状況について説明してございます。それに加えまして片括弧4に記載しておりますけれども、ア、建物、市民一人あたりの面積7.2平米、市民一人あたり7.2平米支えていくんだよ、というふうな状況でありますけれども全国平均が3.4平米と全国平均を大きく上回っている状況であったこと、あと2の収入が減る一方で試算されている維持補修費を掛けていくと勿論、市民サービスの低下や財政破綻やインフラ崩壊となってしまうことから、そうならない為にも市の方針と致しまして地盤の施設数、面積を減らして、限られた財源を使えるものは使う。2の新規の建物は必要最小限として施設を必要とする民間への譲渡を勧める。3将来的には所有面積40%築減を目標に「のこす」「こわす」「まとめる」という分類で進めていくということでございます。このような計画で進めている事を確認し議会にも報告してございます。2ページ目をお開きください。片括弧5ですけれども方針に基づきまして平成27年12月には平成29年から20年間4期に分けて各所管課において将来方針の案を策定致しました。1次評価では3ページに掲載しておりますけれども建物の劣化具合を調査し診断しました。2次評価では4ページ目になりますけれども施設の利用状況ですとか機能性耐震性とかそういうものの機能性を調査して診断しております。2ページ目に戻って下さい。2ページ目の評価イメージというところがございますけれども、いわゆる老朽化度が低く必要性運営状況が高い所は勿論、存続していきましようという1番のものであります。老朽度が低く必要性運営状況が低い、こういう場合には転用とか統合いたしましよう。3番に分類されます。老朽度が高く、必要性運営状況も高く、必要性も高いという場合には改修して使いましようということで2番の方に分類され、老朽化度が高くて必要性運営状況等が低いという場合は、もう廃止しましよう、致しまして1次評価と2次評価を統合して客観的な評価を踏まえまして財政課と所管課で将来方針が建物個々の現段階での考え方を整理しました。あくまでも現段階での方針でございますけれども建物を37分類、表紙の裏にその分類した施設ごとの方針案というところで書いてございますけれども6ページ目以降にその各建物ごとの方針を掲載してございます。今後につきましても議会をはじめとし市民の皆さんに説明会をしながら、ご意見を伺いまして地域の実情を考慮しながら適正な配置を実現していきたいと思っておりますので矢島地域のまちづくり協議会の皆様には今後とも宜しくお願い申し上げまして公共施設等総合管理計画の内容を中間報告という形で説明させて頂きました。本日は有り難うございました。

【佐藤久美会長】

はい、ありがとうございました。今、説明ありました事について委員の皆様から何かご質問、ご意見ございますでしょうか。方針を説明頂いてたので中身については後ろの方のスケジュールですので、まあ、後でゆっくり見てもらう。また、今後の内容については、まちづくり協議会の方に話がでてくると思います。その時にまた詳しく説明して頂くということで皆さん宜しいでしょうか。ご意見、ないようですので、この協議案件は閉じさせて頂いて宜しいでしょうか。宜しいですか。ご意見が無いということですので、次の議案に移りたいと思います。遠藤さんは、ここで退席ということになると思います。大変、ご苦勞様でした。

【遠藤哲也班長】

有り難うございました。今後ともよろしくお願ひします。

(2) 平成28年度由利本荘市主要事業について

【佐藤久美会長】

それでは次の案件に移らせて頂きます。平成28年度由利本荘市主要事業についてということで議題にしたいと思います。事務局から説明お願いいたします。

【佐藤俊一総合支所長】

最初に私の方から、この資料にございます由利本荘市主要事業概要という冊子の中から大きな事業について、地域に関連する事業についてご説明を申し上げます。3月17日に議会で予算を可決頂いて、今新年度に向けていろいろ準備をしているところでございますが、市全体の一般会計の予算は461億ということで昨年に比べて4億3千万程の減ということになっております。項目のナンバーで説明申し上げますが、まず9番の地域づくり推進事業でございますが矢島地域では28年度13事業、総額で300万の予算額、補助金の予算額でございます。それから19番にコンビニ交付サービス事業というのがございますが、これはマイナンバーカードで全国コンビニで住民票等、印鑑証明、戸籍の証明がもらえるシステムに由利本荘市がその事業に参加することでありまして。現在の26年度の数字では全国で約100自治体がこのサービスを行っておりますが由利本荘市もこの様な形に進みたいということでございます。システムの構築等に時間が掛かりますので早ければ29年の1月遅ければ2月ぐらいになるというような見込みでございます。全国4万9千のコンビニの店舗で年末年始を除きますが証明書がもらえるということでありまして。マイナンバーカードの普及ということもあわせて狙いがある事業でございます。3ページでございますが59番、福祉医療費支給事業については昨年度から始めたものではありませんが中学校3年生までの医療費完全無料化というものについては28年度についても継続して実施するというような内容でございます。それから4ページに入りまして80番の沢内地区の小規模水道整備事業がございまして上水道への統合事業ということで今年度工事に着工いたします。続きまして6ページでございます。6ページの132番、秋田未来づくりプロジェクト推進事業でございます。これは26年度から28年度まで鳥海山の観光振興ということで、にかほ市と県と由利本荘市と3者共同ですすめている事業でございますが、昨年度はクリーンハイツの改修等を行っておりますし、バスも昨年度27年度ですが、バスの購入等、由利高原鉄道での貸し切りバス事業等も28年度から始まります。改修しましたクリーンハイツについては4月の23日のリニューアルオープンを目指して今、準備中ということでございます。それから7ページに入りまして、この未来づくりと関連がありますが148番の祓川線の道路改良については2カ所について着工をしたいというふうに考えてございます。それから150番の象潟・花立線については今年度、調査、測量、設計を予定してございます。それから162番にございまして由利本荘総

合防災公園事業、国寮の跡地に建設する工事でございますが先日、起工式を行いました。平成30年の10月のオープンを目指しているということでありまして4月から本格的に建設工事が始まるということでございます。8ページでございますが187番、全国コミュニティースクール研究大会事業でございますが全国大会を由利本荘市で開催するということでございます。期日は7月の29日とカダーレで開催をいたします。それから9ページの206番でございますがスポーツ立市記念事業でございます。スポーツ立市宣言を行うということで、これは10月の10日に予定をしております。それから10ページになりますが228番、矢島地区簡易水道事業、矢島地区の3つの簡易水道を統合整備する工事に着工します。続いて、各課における矢島地域の主要事業について、ご説明を申し上げます。

【佐藤助雄振興課長】

はい、振興課です。A4横長の平成28年度由利本荘市矢島地域主要事業概要説明書をご覧いただきたいと思っております。1ページ目、振興課につきまして2点ほど説明させていただきます。1番の地籍調査事業でございますが、平成2年度から地籍調査事業を開始しておりますが昨年度実績で、まだ80.3%の進捗状況でございます。昨年度から外部行程についても外部委託の方をしております。進捗を図るために頑張っておりますが、まだ、新荘地区、坂之下地区がまだ残っている状況でございます。飛びまして4番のコミュニティバスの更新事業でございます。平成17年に購入致しましたハイエースが、すでに15万キロを経過しております。事業の安全を図る為に今年度、コミュニティバスの更新を行う予定でございます。以上、振興課でございました。

【三浦芳春市民福祉課】

続きまして市民福祉課関係でございます。始めに1番の矢島地域敬老会でございますが今年は6月4日土曜日に矢島体育センターで行います。続きまして7番まで飛びます。地域ミニディサービス活動支援事業でございますが町内会館等を利用して茶道形式に近所の高齢者の憩いの場、居場所をイメージした事業でございます。現在、大川原・水上・坂之下・上新荘・中屋敷サロンで独自に6地域で実施しております。市民福祉課関係は以上でございます。

【小松正産業課長】

続きまして産業課の方から2、3ご紹介いたします。4ページをお開き下さい。10番の農業基盤整備促進事業、これは今年で、28年度で4年目となります事業で農地の区画拡大、暗渠排水に対する助成となっております。区画拡大につきましては10アールあたり10万円の定額助成、それから、暗渠排水に対する助成は10アールあたり15万円となっております、いずれも定額の助成で面積あたり10万円、各々15万円以内の定額助成となっております。それから15番に地域木材利活用振興事業と致しまして、これも3年目の事業になりますがペレットストーブ・薪ストーブの新設費の補助ということでペレットストーブ等の設置に2分の1上限で、2分の1補助でありまして1台あたり補助額の上限が10万円となっております。昨年、一昨年と、だいぶ事情もすすんでおりまして昨年に比べて上限額が10万円、20万円だったのが10万円になり、台数も10台限定という事になっておりますので、これは早いもの順となっておりますので、ご活用する方は、なるべく早く申し出て頂きたいと思っております。それから5ページになりますが秋田未来づくりプロジェクト推進事業、先ほど支所長の方からも、ご紹介されましたが28年度につきましては鶯川事業所の跡地の方に森の休憩所建設工事という事で、今年度、雪が消えると、すぐに取りかかる状況になっております。産業課の方からは以上です。

【佐々木弘喜建設課長】

続きまして建設課の方ですが建設課の8番になります。ページ、6ページになります。住宅リ

フォーム資金助成事業、今までは、この1番上の一般型リフォームというのが主に行われていましたが28年度から子育て支援型リフォーム、空き家購入支援型リフォーム、移住・定住対策型リフォームという様な項目でリフォームが実施されます。特に、この子育て支援型リフォームに関しましては単に一般型リフォームを使った方でも一回きり再度、申し込みできる形となっております。ただし、条件がありまして18歳未満の子供が3人以上同居という、そういうハードルが高いものになっております。こちらの方は対象工事の10%で限度額20万ですけども県の方は同じ10%で40万までという形で合計すると60万まで限度いっぱい貰うと、そのような形で交付できるという内容になっております。続きまして、9番の国道108号曲り渕交差点改良工事ですが、昨年度、用地買収、補償等を終わっておりまして、今年度から工事にかかるということです。あと、もう一つ108号の前杉バイパス関連でございますが国道の方、バイパスの方は、ほとんど工事は終わっておりますけれども、今度は旧道の方の工事という事で今回、28年度に関しましては由利高原鉄道のトンネルの上のところの鋭角な交差点になっておりますが、今のスノーシェットのところは通行止めになるということで、交差点改良が28年度予定されているところです。以上です。

【佐藤のり子教育学習班長】

教育学習課の方から2点ご説明いたします。まず、2番です。平成27年11月24日に突風がありまして小学校北校舎の玄関が剥がされました。今、現在シートで覆いでおりますけれども、そちらの突風被害復旧工事を行います。続いて9番になります。第19回スポーツ少年団競技別交流会スキー大会を行います。こちらは秋田県のスポーツ少年団員がスキーを通して交流を深める事業となっております。平成27年は111名の参加がありました。また、こちらは文部科学省の方から平成27年度、表彰されている事業でもあります。以上です。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。これで各課からの説明が終わりました。委員の皆さんから、ご質問、ご意見ございますでしょうか。今、聞いておきたいこととかあれば、いかがですか。ないという事でよろしいでしょうか。なんとかかんとかいて貰わないと・・・えっと、無いので次に進んでよろしいでしょうか。はい、書いてるのが、ありますので次に移らせて頂きます。

(3) 矢島まちづくり協議会提言案の中間報告について

【佐藤久美会長】

次は矢島まちづくり協議会提言案の中間報告の議題に移りたいと思います。これまでの各グループで3回ほど協議をして頂いておりますので、これについて、まとめたものを、ひとつ発表頂きたいと思います。それでは部会から、まとめたものを発表して頂いてよろしいでしょうか。そういうことに致しますのでよろしくお願いいたします。それでは振興建設部会から始めましょうか。畑澤さん宜しくお願いします。

【畑澤農富和部振興建設会長】

それでは私の方から振興建設部会からの中間報告を申し上げます。まず、当部会の開催状況でございますが、昨年11月26日、12月17日、今年に入りまして1月28日の3回開催しております。部会の研究テーマであります。当部会では3点の研究テーマについて協議を重ねてまいりました。1点目はイベントの広報戦術について、2点目は交通対策、買い物支援、通院支援について、3点目は独身者の解消についてであります。はじめに、1点目のイベントの広報戦術についての協議内容であります。市にある設備を最大限に活かしながら視覚、聴覚を通してPRに努めるということに話が集約されております。具体的には市のホームページ、広報、支

所日より、個別のチラシ巡回広報、特に由利本荘市にはIP電話の告知放送、ケーブルテレビがありますので、そのシステムを最大限利用しながらPRすべきではないかという話がありました。またユニークな提案として、矢島地域はゴミステーションが整備されておりますので、そのスペース借用してのイベントのチラシの掲示も有効ではないかとの提案もでております。また、駅前や国道沿いに常設の大きな掲示板を設置したらどうかという提案もでております。2点目の交通対策、買い物支援、通院支援についての協議内容であります。1つ目として巡回バスの運行。候補路線としては金ヶ沢・田沢線、坂の下・新荘線、木在・立石線の3路線が必要ではないかとの話がでております。2つ目としてはデマンドタクシーの導入。矢島地域内のデマンドタクシーの導入ということで、費用対効果としては、巡回バスの運行よりもむしろ効率的ではないかとの話もでております。3つ目として福祉バスの利用促進。いわゆる寿康苑送迎バスについて、市街地では寿康苑送迎バスの存在すら知らない方が多いようなので、市街部の方でも利用できるPRの仕方、利用促進をしてはどうかとの提案がでております。最後に3点目、独身者の解消については、1つ目が由利高原鉄道を活用した婚活列車の定期的な運行をしてはどうかという案がでました。車両貸し切り料については、行政からの支援を頂きながら、婚活に関わる費用については、参加者から徴収して運行するという案であります。2つ目がおせっかいさんの育成塾の創設という案があります。昔でいう仲人のような方ではありますが、近年はそういった方が、なかなか居ないという事や、自然の成り行きだけでは結ばれない感じがするとの事からの提案であります。3つ目が秋田結婚支援センターの利用促進であります。支援センターでもマッチングによる結婚成立も多数でているようですし、市でも結婚支援センターへの登録料を助成しているとのことでしたので、積極的にPRしながら利用促進を図ることが提案されております。以上が、これまでの協議内容であります。今後、他の部会との調整を図りながら提言に向けて協議して参りたいと考えております。以上が振興建設部会からの中間報告です。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。あの、各部会からの報告を受けてから皆さんから、ご意見等、ご質問等を受け付けたいと思います。次は産業部会から、お願いします。

【佐藤榮一産業部会長】

産業部会の方から私の方から報告させていただきます。産業部会からの、まず、当部会からの開催状況でございますが昨年の12月7日、今年に入って1月7日、2月18日の3回開催しております。部会のテーマであります。当部会では2点の研究テーマについて協議を重ねて参りました。1点目は鳥海山麓周辺の観光振興についてであります。2点目は地域産業の育成についてであります。はじめに、鳥海山麓周辺の観光振興についてですが、一番は矢島地域外からの来訪者が立ち寄りそうな拠点（花立クリーンハイツ・駅・やさい王国・総合案内所・ガソリンスタンド・タクシーなど）のスタッフが「その件はあそこに行けばいい」「その件はあの人に聞けばいい」と言うような対応が出来るような観光案内講習会を広く募集して開催するような取り組みを提言したいと考えております。それに付随して、矢島の見所や店舗・トイレなどを掲載した簡単なパンフレットの作成についても提言したいと考えております。2つ目は地域産業の育成についてです。常に話題になる、お土産品についてですが、新しい物を作るのではなく今ある物を各店舗から情報提供を頂きリストアップし、まずは地元の住民に認識してもらい広くPRする方向で取り組み、販売先は花立クリーンハイツや駅・やさい王国など来訪者の拠点となる場所が良いのではということ提言したいと考えております。また、観光タクシーの取り組みも提言したいと考えておりますが、価格・コース設定等、タクシー会社の協力が不可欠なことから十分な検討が

必要と考えております。以上、産業部会の中間報告といたしたいと思っております。以上です。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。最後になります。福祉教育部会。副部長さん。

【鵜沼瑠美子福祉教育副部長】

福祉教育部会から中間報告を報告申し上げます。まず、当部会の開催状況でございますが、昨年の11月26日、今年に入りまして2月3日、3月8日の3回開催しております。部会の研究テーマであります。当部会では2点の研究テーマについて協議を重ねて参りました。1点目は、地域で安心して暮らせるまちづくりについて、2点目は、少子化に対応するまちづくりについてであります。はじめに、地域で安心して暮らせるまちづくりについてです。1点目に福祉バスの導入についてであります。高齢化が進むなかで、車を運転できず、地域によっては買い物にも不便をきたす世帯もある状況で、通院等、幅広く利用できる福祉バスの運行について提言したいと考えております。現在、稼働中の老人福祉センター「寿康苑」への送迎バスの利用体型を含め、運行実施にあたり、幅広く住民にPRし有効利用できるよう併せて提言したいと考えております。2点目に高齢者の除雪体制についてです。矢島地域では、高齢世帯の除雪の負担が毎年話題となっております。市の軽度支援事業により間口除雪をシルバー人材センターに委託しているものの、高齢化により作業の担い手不足等、将来的にも不安が予想されております。また、屋根の雪下ろし費用も高齢世帯には大きな負担となっております。一方で、学生ボランティアによる高齢世帯の除雪実施等、地域福祉の環境も整ってきています。降雪地において避けられない、克雪対策として、自助・共助・公助の環境を醸成するよう各方面に働きかけて頂くよう提言したいと考えております。次に少子化に対するまちづくりについてであります。学童保育は現在、市が矢島恵育会に指定管理委託する、矢島こども館において、平成12年、新町地域において実施しているが、小学校と、矢島こども館の距離が約1.8kmの距離に位置しております。以前より保護者から距離が問われていましたが、平成24年度以降に矢島小中PTA連絡協議会から安全整備の要望が提出されております。矢島こども館も昭和51年建築以来、39年経過し老朽化も進み、今後は小学校近隣に新設することを提言したいと考えております。以上、福祉教育部会の中間報告とさせていただきます。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。これで3部会の、それぞれの協議の内容について発表して頂きました。それぞれの部会の視点から、いろいろな提言をして頂いたと思っております。委員の皆さんから部会に関係なく、隔たり無く、もし、ご意見等がございましたら提言頂きたいと思っておりますが、いかがですか。どうですか。ございませんか。中間、今までの間では、まとまっているのかな。それぞれの部会で固まっているところもありますし、それぞれご意見がでてきているようなので、いれぱと思っておりますが、あの、自分の入っていない部会にも質問などあれば、この機会ですので、どうですか。皆さん集まって何も無いのも、あれなので、無ければ、こういう形で、まとめさせて頂いて中間報告とさせて頂きたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

【A委員】

1点、良いですか。

【佐藤久美会長】

はい、どうぞ。

【A委員】

振興建設部会の佐藤と申します。振興建設部会の方で交通対策、買い物支援、福祉支援といっ

た形で検討しておりましたが、福祉教育部会さんと、ちょっと、ダブった形で協議が行われているように今伺っております。このまま、ダブったまま、進めてもよろしいのか、どうか、その辺をどのように進めていくか検討して頂きたいと思います。

【佐藤久美会長】

今、佐藤委員から、振興建設部会と福祉教育部会の中で福祉バスというような形で同じテーマで話しているので、これを、このままで協議して良いのかというご意見がありました。他に皆さんからご意見ございませんか。あの、これはですね、あの、同じテーマですけども視点が違うと思うんですよ。あの、建設部会と、だいたい似かよった所に行くんですが、いくかもしれませんけれど、視点が違うので、それぞれの部会の意見をまとめて、多角的に意見を調整するという事で、よろしいんじゃないでしょうか。

【A委員】

はい、了解しました。

【佐藤久美会長】

はい、他に、ございませんか。今のような質問の形でいいですが、他に、ございませんか。無ければ、こういう形で中間報告の形とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

【一同】

はい。

【佐藤久美会長】

無いと言う声が多く聞こえたので、このような形で、まとめさせて頂きたいと思います。この後は、それぞれになりますから、各部会で話しますので、今日の中間報告を協議して頂いて最終的な3部会に持ち帰ってということになると思いますので、この次はまた、これはこうしてとすることで進めさせて頂きたいと思います。

(4) その他

【佐藤久美会長】

そうすれば、今日の案件については、これで全て終わるということでございますが、その他という項目がありますので事務局から何か、ございますか。

【佐藤昌司主席主査】

それでは事務局から2点程、お話ししたいと思います。初めに、平成28年度の地域づくり推進事業です。先ほど支所長の方からも主要事業の概要の説明がありましたけれども、今回、矢島地域の事業、13事業ですね、要望が来ておまして内示額ということで90%の内示をしております。それから、説明の無かった事務事業の行事スケジュール予定ということでA3版の資料をお配りしましたけれども、3月23日の今日、現在の予定でございます。日にちの設定もございますけれども、まだ、日にちが入っていない部分も多々あります。解り次第、また、皆さんのほうに、お知らせしていきたいと思っておりますけれども、参考までに、ご覧になって頂きたいということでお配りしております。それから、矢島まちづくり協議会の全体会・各部会の開催状況ということで、1つ訂正がございます。3月8日の各部会の開催状況の中の一番下3月8日の福祉教育部会の開催場所ですけれども福祉会館の大会議室ということで、矢島総合支所第3会議室と書いてありますけれども、福祉会館大会議室ということで訂正して下さい。私の方からは以上です。

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。他に委員の皆さんから、ございますか。無いようですので矢島まちづくり協議会を閉じさせて頂きますけどよろしいですか。

4. 閉会

【佐藤久美会長】

はい、有り難うございました。はい、ご苦労様でございました。矢島まちづくり協議会を閉じさせていただきます。

第3回矢島まちづくり協議会【平成28年3月23日開催】出席者名簿

No	所 属	氏 名	備 考
1	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 久 美	会 長
2	矢島まちづくり協議会委員	菅 原 賢 一	副会長
3	矢島まちづくり協議会委員	植 村 清 一	
4	矢島まちづくり協議会委員	土 田 秀 雄	
5	矢島まちづくり協議会委員	鵜 沼 瑠 美 子	
6	矢島まちづくり協議会委員	岸 田 康 明	
7	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 栄 一	
8	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 京 子	
9	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 ま き 子	
10	矢島まちづくり協議会委員	畑 澤 農 富 和	
11	矢島まちづくり協議会委員	真 坂 民 子	
12	矢島まちづくり協議会委員	茂 木 美 寶 子	
13	矢島まちづくり協議会委員	山 口 晃 治	
14	矢島まちづくり協議会委員	伊 藤 典 子	
15	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 一 弘	
16	矢島まちづくり協議会委員	池 田 優 香	
17	矢島まちづくり協議会委員	三 浦 秀 人	
	矢島総合支所長	佐 藤 俊 一	
	主幹兼振興課長	佐 藤 助 雄	
	市民福祉課長	三 浦 芳 春	
	産業課長	小 松 正	
	建設課長	佐 々 木 弘 喜	
	教育学習課長	植 村 俊 一	欠席
	振興課振興班長	木 内 華 奈	
	振興課主席主査	佐 藤 昌 司	
	市民福祉課参事兼課長補佐	佐 藤 一 彰	
	産業課課長補佐	土 田 智 之	
	産業課商工観光班長	三 浦 浩 征	
	建設課課長補佐	土 田 真 澄	
	教育学習課教育学習班長	佐 藤 の り 子	
欠席者	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 公	
	矢島まちづくり協議会委員	佐 々 木 正 純	
	矢島まちづくり協議会委員	三 浦 正 明	